

エリア21研修旅行

9/21~22(金・土) 佐賀

今年の研修旅行には総勢38名で行きました。一日目は雨模様でしたが、大きな影響を受けずに、マグカップへの絵付け体験やお菓子の詰め放題を満喫しました。旅館に着くとお風呂に入り、宴会へ。食後は恒例のカラオケタイムが始まり、歌や踊りやバックダンサーが加わり盛りあがりました。(辻)



毎食、まいう〜♡



絵付け…
いいのが出来た★



みんな本気の
駄菓子詰め放題！



宴会&カラオケ
サイコー！！



とぎつ夏まつり

8/26(日)

ウォーターフロント公園

育成会ブース(フリーマーケット・ジュース販売・ヨーヨーつり・スーパーボールすくい)



今年はフリーマーケットの商品を広く並べてお客さんに見てもらいやすくしようと、ヨーヨーつりとスーパーボールすくいは昼からの開店にしてみました。フリーマーケットでは例年通り、オープン時の混雑で対応に追われていて、「育成会のフリーマーケットは時津の一部の主婦層には浸透している…」と実感しました(笑)

ジュース販売やヨーヨー・スーパーボールでは、本人さんたちもお手伝いを頑張ってくれて、和やかな雰囲気販売を終えることができました。お手伝いに来てくださったみなさま、ありがとうございました。(那須)

エリアブース(水鉄砲くじ・ジュース販売)

今回はクジ運が良かったのか、出店場所を会場入口付近に設営することができました。午前中はお客さんもそこまで多くはありませんでしたが、時間が経つにつれ、だんだんと賑わいをみせました。エリアは2回目となる水鉄砲の射的ゲームを出店し、お子さん連れのご家族

や子どもたちにとっても好評でした。中には「このゲームが一番楽し

い！」という嬉しい声を聞くこともできました。祭り終了前には、沢山準備していた景品も見事に売り切れました。

今年の夏は猛暑で、職員、利用者さん共にハードな一日でしたがこの調子で水鉄砲の射的ゲームが時津夏祭り地域の方々に根付いていけたらと思います。暑い中みなさん本当にお疲れ様でした。(坪田)



「伝えよう自分の願いを くみとろうあなたの思いを 実現しよう自分の夢を 応援しよう しまばらがまだす大会」

手をつなぐ育成会島原大会

11/29(土)

島原復興アリーナ

オープニングセレモニーではtomorrowの曲に乗って光のフェアリーの素敵な車椅子ダンスが披露されました。午後からは意思決定支援について上智大学の太塚晃先生の講演と、島原市手をつなぐ育成会の塚原若菜さん、長崎市手をつなぐ育成会の田川春子さんの発表がありました。講演はノーマライゼーションの起源から意思を尊重した本人中心の支援や計画のあり方について分かりやすい話を伺うことが出来ました。

塚原さんは普段の様子を動画撮影して発表されました。支援されている方々がご本人を理解し意思の確認や表出の工夫をきめ細かくされており、塚原さんの表情からも信頼関係がしっかり結ばれている様子が伝わり印象的でした。

田川さんは周囲からの支えにより意思決定を行ってきた経験を落着いて発表されていて立派でした。

お二人の発表から知的障害者への合理的配慮は人であると言われていた太塚先生の言葉がより理解できました。

2年後は西海町、長与町、時津町の西彼ブロックが主管する予定です。がまだしてよい大会にしたいですね。(池田)



第40回 長崎県障害者技能競技大会 7/8(日) 長崎高等技術専門学校

第40回長崎県障害者技能競技大会



今年度は、喫茶サービス部門にエリア 21 から谷山さん、安野さん、若杉さんの 3 名が出場しました。県内各地の高校生・社会人など多くの参加者が、たくさんのお客様と審査員の前で接客技術を競い、会場は独特の緊張感に包まれます。毎回、エリアで希望者を募ってから出場者を選出しますが、今回初となった若杉さん親子に、感想をうかがってみました。

アビリンピックに出場するという話を聞いた時は、本当に驚きました。今まで、月に一回ほどのお手伝いとしてしかレストラン作業に入っていなかった侑紀がそんな大会に出場しているの？と、不安しかなかったのですが、エリアで職員の方々

からいろいろ指導して頂き、練習を重ね本番を迎えました。

珍しく緊張した顔をしていましたが、大きな声で挨拶をし、きちんと接客して飲食後の片付けをしている様子に、ものすごく成長を感じました。

練習以上の出来栄で、エリアの皆さんにたくさん褒めて頂きとても嬉しそうでした。本当にこの挑戦が侑紀にとって大きな自信につながりました。

エリアにはこの大会に出場して上位を目指せる先輩方がたくさんいるのに、侑紀のような新人に出場のチャンスを与えて頂ける！！改めて就労先にエリア 21 を選んで良かったと思いました。

お調子者で、仕事面での課題もまだたくさんで、ご迷惑をかける事ばかりだと思いますが、これからもビシバシ鍛えて下さい(笑)宜しくお願い致します！(母)

お客さんの注文を聞いて、テーブルにコップとコーヒーとマドレーヌを出して、お客さんの注文したものをなおしました。おもしろかったです。また出場したいのでお願いします。(若杉侑紀)



畑の整備&芋ほり



保護者のみなさん 草刈りありがとうございました

10月1日(月)の晴れの日、保護者・利用者・職員にて草むしり・石拾いをしました。

前日に台風が過ぎ、気候は穏やか。土も濡れていて、とても良い感じに草が抜けていきました。人によっては、取りやすいのか石垣の石まで取る方もいましたが…。

保護者の方が来ていたためか、みんなの集中力がとても高く、一気に畑らしくなりました。

休憩中には保護者の方と利用者の方が少しですが話をされ、とても良い感じの時間が過ぎていました。保護者の方々、いつもありがとうございます。育った野菜をみんなで収穫しますね♪(岸部武士)

エリアのみんなは11月13日(火)芋ほり開始！THE 秋！！

今年は猛暑により、芋づるが伸びず、かなり心配していました。危うく痩せそうになった程です。そして今日！ 半分、心配は的中！！

最初に掘った所は、大物・大量で、大盛り上がり！みんなの笑顔が凄かったです。

そして次の所は、小粒・少量。実りの少ない芋ほりでしたが、みんな「小さか」「小さか」と

良く笑い、とてもとても楽しそうに探していました。あまりにも見つけられず、途方に暮れた感じの方もいましたが…。

芋ほりを楽しみにして下さっていた方々、芋を楽しみにして下さっていた方々、みなさま、すみません。来年は、いや来年もみんなで頑張ります！(岸部武士)



とったと～！

第3回 体育祭 風船バレー

10/14(日)
時津町 B&G 海洋センター

会員、ご家族の方、職員合わせて約 80 名参加のもと、大会が行われました。

村島久典さんの元気な開会宣言、坂本明日香さん、西岡佳恋さんが息の合った選手宣誓を行いました。

風船バレーに初参加の方も多かったので、まずは職員がルール説明を行い、その後、8 チームに分かれ、熱戦が繰り広げられました。

思い切りサーブやアタックを打っても思う所に飛ばなかったり、決まったカウント数以内で相手コートに返せなかったり、笑いあり涙ありの試合となりました。

午前の部が終わり、楽しいお弁当タイムの後、午後からは決勝戦が行われました。

辻所長率いるドラゴンチームが見事優勝しました。2 位はドンペンチーム、3 位はポケットモンスターチームでした。表彰式ではメダルをもらったみなさんの顔も輝いていました。大西美幸さんの閉会宣言で幕を閉じました。みなさん、お疲れさまでした。(山口)



第18回
全国障害者スポーツ大会

福井しあわせ元気大会

10/13(土)～15(月)
福井市

見事
銅メダル獲得！

今年 5 月末に開催された長崎県障害者スポーツ大会で優秀な成績を収めた各競技の選手が、県代表として全国大会へ出場した中、ボウリング競技の部に、本会会員の増山尚史さんが出場されました。

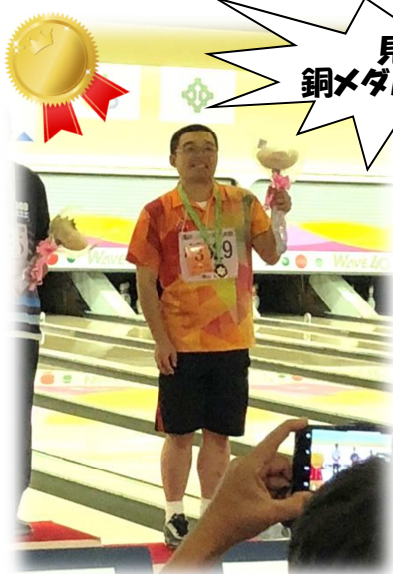
美しく力強いフォームが特徴の増山さん。これまでも何回か全国大会の出場経験がありますが、選手団引率の県育成会三村氏によると、「やはり緊張はしていたと思いますよ」とのことでした。

増山さんの出場区分では 6 名の選手と対決。4 ゲームの総合得点で競います。

立ち上がりから 3 ゲームまでどんどん調子を上げての好発進。4 ゲーム目でスコアが伸び悩み、応援席を

かなりハラハラさせたものの、それまでのゲームでの高得点を貯金に、見事 3 位入賞を果たされました。

閉会式のモーニング娘。OG によるコンサートを最前列で見られて、とっても楽しかったそうです。増山さん、おめでとうございます！お疲れさまでした(*^*)



勉強会

～障がいのある方と保護者の
ライフプランとお金のはなし～

11/10(土)
時津町北部コミュニティセンター



今年は全国各地でご活躍されているライフプランナー富岡竜一氏を講師としてお招きし、『障がいのある方と保護者のライフプランとお金のはなし～安心して暮らすために、いま準備できること～』というテーマで勉強会を開催しました。

勉強会には、育成会員の他、特別支援学校の保護者、学校関係者、近隣施設関係者など70名近くのご参加があり、関心の深さを感じることができました。

“親亡きあと”のテーマは、今までの勉強会でも取り上げてきましたが、今回は、“親亡きあと”を考えるのではなく、“親無きあと(親が親らしく面倒をみられなくなる時期)”を見据え、どのような準備が必要か、どのような資産形成の

方法があるのか、障がい者と家族のライフステージに合わせたリスク管理や、お金にまつわる詳しいお話を伺いました。

勉強会は前半と後半と分かれ、前半には“ライフプランと親子の準備のはなし”を中心に、ご本人のライフステージの流れや、意思決定支援、ご本人の生活要件について、利用できる各種制度、私的に備えておくべき準備などについてお話されました。

あまり聞きなれない言葉や、本人が利用できる各種制度について、富岡さんが経験した具体例を挙げられ、各自治体の福祉のしおりを確認されたほうがいいのかなどのご助言を頂きました。

また、本人にどのくらいお金が必要なのか、一概に言えなくても目安として、この位の生活資金が必要になる、などの具体的な金額についても聞くことができました。



後半は、お金をどうやって貯めていくか、保護者の保険の契約形態による税金の違い、資金形成のキーワード、リスクの分散化や、年金、成年後見制度、信託制度の概要についてお話されました。

信託については、特定贈与信託と生命保険信託についてお話していただき、前者は金銭管理をすることが難しい本人に対して、生活資金を残していく方法の一つとして、後者は生命保険を使って、親無きあとの備えという要望に応えるもので、長崎では第一生命で取扱があるとの話でした。

質疑応答の時間では、ご本人のリスクについてお話いただきました。

周りから病気と気づかれにくいことや、入院で一番多い病名のこと、なぜその病気が多いのかなど、また、本人にとってよりよい安全対策とは何か、リスクマネジメントについてもお話して下さいました。

今まで、お金について考えるけれど、答えがでない、どう動いていいかわからない等、漠然とした感覚を抱いていましたが、富岡さんのお話を伺い、ライフプランについて、お金のことについて一歩進めたように思います。まず分かるところから、一つ一つ学んでいき、本人のため、家族のため、どのようなかたちがベストなのか考えていくことが大切だと感じました。(岸部希)



富岡竜一さん

参加されたみなさんから ～アンケートより～

- ・今回の勉強会は、今までほとんど分からなかったお金の問題と親無き前後の課題をよく理解できた。
- ・内容がとても具体的で、解りやすかった。今後どうしたらよいか、考えるチャンス(きっかけ)をいただいた気がします。
- ・子どもの今後のことを考えると、不安ばかりでしたが、本日お話をお聞きして子どもにしてあげることが何かを具体的に聞くことが出来て、気持ちが楽になり、これから準備することがわかりました。